

信州 冷涼の園へようこそ

# 八千穂高原自然園 散策ガイド

四季を彩る花々と癒しの清流を楽しむ。



クリンソウ  
(サクランソウ科)

山地の湿地に生え、葉は全長10～20cm。花茎は高さ25～40cm。花冠は約2cm。名は花が多く、の段に輪生するので九輪草。花期は5～6月。



レンゲツツジ  
(ツツジ科)

高さ1～2mの落葉低木。葉は3枚輪生してわかい枝や葉に白い毛が多い。花は枝先にかたまつてつき、葉とほぼ同じ頃に開く。花の色は朱橙色で花期は6月上旬。



マツムシソウ  
(マツムシソウ科)

草丈 30～80cm 花期 8～9月 日当たりのよい高原の草地に生える 2年草で、松虫の好むような草地やまばらな林地に生える。



トウゴクミツバツツジ  
(ツツジ科)

高さ1.5～3mの落葉低木。花の頃にはまだ葉はなく、花は5月下旬に咲き紅紫色。上側内面に濃い斑点がある。



小梨  
(バラ科)

バラ科の落葉小高木。葉は長楕円形。4、5月ごろ、白色の花を開き、果実は球形で、黄色に熟す。ズミの別名。



ヤナギラン  
(アカバナ科)

高原の草地に生え、高さ1～1.5m。葉は長さ7～15cmで多数の支脈があり、緑は多少裏側へ曲がる。花は径2cm余で、がく片は4枚、花弁も4枚で紅紫色。花期は7～8月。



コオニユリ  
(ユリ科)

山地の草原に生え、高さ1～1.5m。花は3～10個つき、径8cm内外。花期は7～8月。



ヤマトリカブト  
(キンポウゲ科)

山野に生える多年草。根は有毒で毒矢に使われる。高さ60～100cm。花期は8～9月。



紅葉

八千穂高原の紅葉は白樺の白さとうまく調和されて、紅葉高原としても名が知られています。紅葉期間10月上旬～11月上旬。



もみじの滝

苔むした巨石をふた筋に分かれ、真っ白な水しぶきを上げて落下している。春、夏、秋と全く違う顔がある。



遊亀湖

色鮮やかな紅葉が湖面に映り出される幻想的な湖。黄金色に輝くカラマツは見事。



飛龍の滝

八ヶ岳から湧き出ており、岩をぬって流れている清涼感溢れる滝。名前の由来は、霧が出ているときに竜が天に昇るように見えたことから。